



○ 春の草花が空を見上げると、こんな鳥が飛びまわっているかも。

あったかくて、にぎやかな、春の空気です。 aiko.

都市公園で自然観察会

県立春日公園での自然観察会(160回)

日時: 2025年 4 月 19 日(土) 10時から12時まで

集合場所: 公園の中央付近にある自然あそび館



春日公園2025 年 3/15 雨の日の風景 撮影: 田字草

「問い合わせ先」 担当: 田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに関心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

問合せ先 090-8220-6160（田村耕作）

4月19日（土） 5月18日（日） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時 間：9:00～12:00 集 合：天拝山歴史自然公園	4月27日（日）5月25日（日） 久末ダム探鳥会（福津市） 時 間 9:00～12:00 集 合：久末ダム多目的広場横 駐車場（理事務所下）	4月6日（日）5月4日（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時 間：9:00～12:00 集 合：玄洋高校西側道路
5月10日（土） 大濠公園（福岡市） 時 間：9:00～12:00 集 合：ポート乗り場前	5月11日（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時 間：9:00～12:00 集 合：JR 和白駅前の公園	5月6日（火） 県営春日公園（春日市） 時 間：10:00～12:00 集 合：音楽堂ステージ側（第5P）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

5月3日（第1土曜日）
 集 合：九州歴史資料館
 第1駐車場
 時 間：9:30～12:00
 （早めに終わるかもしれません）
 問合せ：092-920-3072
 参加費：大人 200円
 コロナ対策：ブログにて確認
 ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
 [検索](#)

日本野鳥の会 筑後支部

4月27日（日）
 高良山（久留米市）
 時 間：9:00～12:00
 集 合：甲良下宮社
 問合せ：090-4357-3043（溝田泰博）

福岡植物友の会

4月20日（日）猪の瀬戸
 詳細は問合せください。
 中小路 香（092-864-7585）

久留米の自然を守る会

5月17日（土）
 樹木の名札付け
 高良山 北面コースを検討中
 詳細はお問い合わせください。
 問合せ：0942-43-7959（河内俊英）

ネジキ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会

2025年4月26日（土）
 定例会議
 時 間：12:00～14:00
 集 合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2025年4月26日（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時 間：15:00～17:00
 集 合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：080-1761-3924（今林）



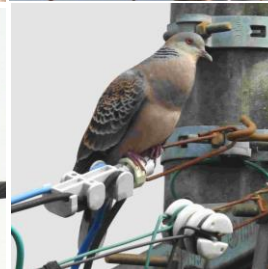
キュウリグサ 三国・松永

2025年3月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、3月1日(旧暦2月2日)～3月31日(旧暦3月3日) までの
デジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)

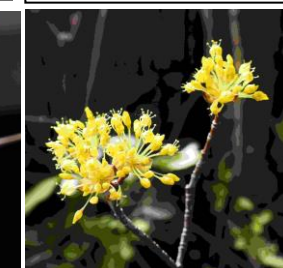


上)3/2(旧 2/3)、下)3/26(旧 2/27)筑紫野市天拝坂
自宅東窓から見た二日市地帯の様子。上は雲海、下
は黄砂の街。真ん中正面には宝満山だが見えない・・・

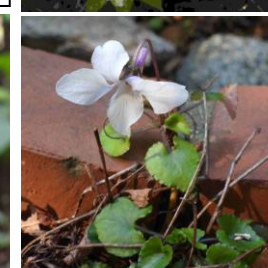
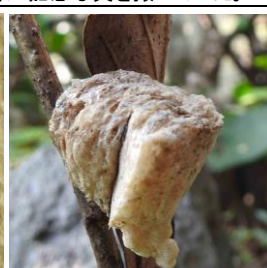


3/1～31 筑紫野市天拝坂 シジュウカラ、アオバト、ホオジロ、シロハラ、イソヒヨドリ、ヒヨドリ、カワラヒワ、モズ、キジバト。写真は無いが他にツバメ、ハシボソガラス、トビ、カワラバトが観られた。しかし大事な鳥スズメが居ない。それとツグミも見えていない。

3/7(旧 2/8)筑紫野市立明寺
山口川のセグロセキレイ(左)とイソシギ(右)が川虫の
幼虫の様なものを飲み込もうとしている。



3/16(旧 2/17)中央区天神 外来樹二題
左)旧寺町通のマンションに植栽されていた台湾ツバキ。花はシャラミたいだが、葉はシャクナゲの様だった。花が落ちると見た目から「目玉焼きの木」とも。
右)三光橋たもとのミモザが満開。ミモザアカシアともいわれるが、札幌で観たアカシアとは同じマメ科だが、属が違うらしい。外国人観光客が記念写真を撮っていた。



3/25(旧 2/26)筑紫野市天拝坂 左)ハラビロカマキリ
右)オオカマキリ カマキリの卵鞘である。5ミリ位の幼虫が100～300入っているらしい。毎年みられるが、庭はカマキリだらけになっていない。生存率数%？

3/1～31(旧暦 2/2～3/3)筑紫野市天拝坂 3月に入るとやっと梅が咲き、サンシュユ、ジンチョウゲと続いた。中旬になるとアセビ、ヒュウガミズキ、そしてやっとスミレが咲いた。彼岸を過ぎるとリキュウパイ、カイドウが咲いて、26日には公民館の桜が咲いていた。此の間、雪、春一番、雨と乾燥、夏日、冬日、寒暖差と天候の変化あわたくし昆虫特にチョウも少ない。

春日公園自然観察会 令和7年3月15日(土)【参加者】8人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池を巡り～噴水広場とその周り、自然風庭園の森を経て自然あそび館にもどった。
観察内容 雨、7℃で開始。今回、アオバトが飛び交い、その観察から始まった。雨の中、雨ならではの場面をいろいろ体験できた。

植物 キュウリグサ、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、アセビ、ユズリハ、ヒメユズリハ、ウメ、アジサイ、イチョウ、サザンカ(花)、アメリカスズカケノキ、シナマンサク、サンシュユ、ユキヤナギ、アマナ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、ブルーベリー、イロハカエデ、ニシキギ、シダレヤナギ、サンゴジュ。

野鳥 マガモ、コガモ、オカヨシガモ、スズメ、コサギ、アオサギ、メジロ、モズ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コゲラ、キジバト、アオバト、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、ムクドリ、ハクセキレイ、アヒル、カワラバト。

シダレヤナギの緑が春めいた。



感想(参加者、その場の声)

- ・観察中、気温が下がり、手がかじかんだ。少し冬に戻った。
- ・アオバト(合わせて100羽程度)はじめ、鳥が観察観察できて、良かった。
- ・カラスノエンドウなど3種の花を観察することが出来た。
- ・アジサイに新しい葉が増えた。、サンシュユの花が観察できた。
- ・シナマンサク満開、トサミズキの開花を観察できた。
- ・木肌がツルツルのサルスベリ、小さなへこみに小さなマユを観察できた。
- ・アマナを2ヶ所で観察。蕾を観察した。

観察会の様子



頭上にいたアオバト♂



咲き始めたキュウリグサ



ユキヤナギの枝に水滴



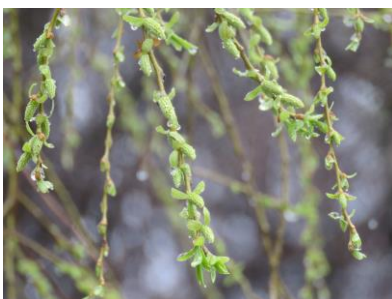
大きく膨らんだサンシュユの花芽



アマナの蕾



シダレヤナギの花



ヒマラヤスギの天辺にアオバトの群れ



会員からの投稿 (1) 窓越しの自然観察 62 ～ 一期一会 36 ～

毎年、今年は大丈夫かとハラハラしながら待つ彼岸桜の開花。春分の日を前に突然枯れ木が満開になって驚かされる。待っていた様に、ヒヨドリ。他の鳥は寄せ付けず、4、5日かけて一輪一輪全ての花房を巡る。少しは、満足したかな? 突然の開花に驚かされたのは今年の桜。見上げている眼前で、3分から7、8分、満開とアットというまも無い開花。初めての経験。日内の寒暖差が激し過ぎて、散る時を計りかねている様な桜並木があちこちで、人々を喜ばせています。

4月に入って、チン、チュンと呼び合う声、珍しくスズメの姿。餌になるものがあるのか心配です。(ダムサイド住人/4/5記)



会員からの投稿 (2) 秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中 2～3月撮影

雁ノ巣の日の出



ウミアイサ番かな



雀2羽



ツチイナゴ2匹



ミサゴ2羽



雁ノ巣から

水辺にミヤコドリの群れ

会員からの投稿 (3) 岩井結友美



3/23 福岡市六本松の街路樹、ヒヨドリのヒヨちゃん いつも見かけます
今日はお食事中、やっと咲いたお花たち。ヒヨちゃん大好物？ぱくぱく美味しそう
に食べてました
春ですね ヒーヨヒーヨ♪

街には樹木が景観よく植えられています。鳥にとって住み心地良い？好みの樹木が
あるのかな
街路樹は人間のために植えられています。そこに野
鳥がやってきます
花を食べてしまうと害鳥とも言われます。
人間世界と野鳥の関係、考え深いです

会員からの投稿 (4) 山本庚子

第27期 和白干潟の自然観察ガイド講習会

和白干潟の自然と漂着ごみについて！★和白干潟の自然観察会ガイドを育成するための講習会

自然を体験して学習（初心者歓迎）★募集：20名。講習は室内とフィールドの両方。

★参加費：300円

・持ち物：筆記具、飲み物、双眼鏡（あれば） ・服装：長袖、長ズボン、帽子、長靴

とき:2025年5月18日(日)13:00~17:00

受付:12:30 集合:和白干潟を守る会事務所（和白 1-14-37、海のきりえ館1階）

講師:宗像 優 氏：九州産業大学教授

★主催：和白干潟を守る会：福岡市東区和白 1-14-37 TEL/FAX：092-606-0012

申し込み・お問い合わせ：TEL: 090-8412-2663 山之内



クリーン作戦



ミヤコドリとクロツラヘラサギ

第21回 くすだひろこきいえ展 ★和白干潟のなかまたち★

と き: 2025年5月1日(木)～5月31日(土) ところ: レストラン「花もも」

11:30～15:00(日曜祝日休)

福岡市東区唐原3-7-6 TEL:092-673-0563

★和白干潟のきいえ新作を12点飾っています。ご高覧いただきますよう、ご案内いたします。

★きいえはがき14集「和白干潟のなかまたち」も販売しています!

くすだ ひろこ

アトリエ:きいえ館 福岡市東区和白1-14-37 TEL:080-1725-4851



きりえ「コサギのおしゃべり」

会員からの投稿 (5) 志賀壮史

ブナ科の大木が枯れる「ナラ枯れ」で、鴻巣山のコナラもいくつも枯れて、寂しい……。一方、森の中に日光が入って、カラスザンショウやクサイチゴが増えました。満開のクサイチゴの花にニホンミツバチが来てました。(2025. 04. 06. 鴻巣山)



会員からの投稿 (6) 田村耕作

最近、自宅の近所でフデリンドウの小さな群落を発見しました。見かけた日は、曇り空でした。そのためか、1輪も開花した個体はありませんでした。よく晴れた日の午後に見かけたフデリンドウは、開花し、花の青さがよく目立ちました。写真は同じ個体です。

曇り空の中で撮影



晴れて光がまぶしい中で撮影



会員からの投稿（7） 田村耕作

この頃、シロハラの動きがせわしないというか一か所でゆっくりと採食する姿が見られない。旅立ち前の準備で、腹ごしらえかな。キツタの実を飲み込むシロハラを見かけた。鳥たちにあまり人気がないと思っていた。この時期は実を付けた植物は少ない。とにかく食べられそうなものは食べることが優先かな。



お知らせ 自然観察指導員の講習会が、お隣の熊本県で、11/22（土）～ 11/23（日）に、

国立阿蘇青少年交流の家で開催される予定です。詳細は、分かりしだいお知らせします。

私は、日本自然保護協会の会員には入れてもらっていたのですが、この講習会を受けて、自然、その中の生きものと接する時の見方、考え方が大きく変わったなあと感じています。皆さんの周りに、自然、生きもの、その環境に興味を持っている仲間がおられたら、是非お勧めください。何か疑問などありましたら事務局田村まで、連絡をください。あるいは、小さな実体験として、春日公園で実施している自然観察会に参加されることもお勧めです。



この3枚の写真は、ソメイヨシノの落ち葉を集め、色の似通っている落ち葉を集め、並べて、落ち葉の色の变化を楽しむ観察会の様子です。2024年12月の会報から引用しました。

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2025年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000 円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 **01760-9-15783**

定例会に参加してみませんか

次回の定例会は、**令和7年5月9日（金）午後2時**より事務局で行います。令和7年5月号の原稿は、5/6（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2025年3月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

3月の終り、いつも月の初めに出かける場所、この時期、鳥たちの渡りの季節と思いつつ、夕方覗いた場所、目の前の数cm位した伸びてない草地から、パタパタと飛び出した鳩位の大きさの鳥が、近くのハゼの木に止まってくれた。双眼鏡で覗いた。ヤツガシラに遭遇、夕暮れの時間ながら、証拠写真を撮ることが出来ました。しばらくして飛び出し消えた。

私には、いい時が流れました。この時期、緊張感をもって散策します。



城南区にて撮影（田字草）